

東京都写真美術館年報 2004-2005 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY



東京都写真美術館
〒153-0062
東京都目黒区三田1-13-3
TEL.03-3280-0099

東京都写真美術館年報
2005 - 2006
TOKYO
METROPOLITAN
MUSEUM
OF
PHOTOGRAPHY

東京都写真美術館年報／2005-06

Annual Report: Tokyo Metropolitan Museum of Photography
2005-06

はじめに

「美術館の基本的な機能として、文化の継承、展示そして未来への創造があるとすれば、この10周年には当館のコレクションを4つのテーマに分けて皆さんへお披露目をしたい。そして次の10年へのステップの踊り場となる1年を皆さんとともに楽しみたい」。これは、「写真美術館ニュースeyes（アイズ）45号」に寄せた福原義春館長のあいさつの抜粋です。

開館10周年を迎えた平成17年度は、「信頼される美術館」をコンセプトに、多彩な10周年記念事業に取り組みました。その結果、観覧者数が441,705人となり、平成17年度も過去最高を記録し、平成12年度以降更新し続けている観覧者数の実績をさらに上げることが出来ました。

10周年特別企画展としては、「写真はものの見方をどのように変えてきたか」展を当館所蔵のコレクションで構成し、写真の発明から現在に至るまでの歴史を4つの構成（第1部 誕生、第2部 創造、第3部 再生、第4部 混沌）でひもときました。あわせて、展覧会の概要を学芸員がとりまとめた「写真の歴史入門書」を新潮社とんぼの本から出版いたしました。

さらに重点収集作家個展「植田正治：写真の作法」展や、「写真展・岡本太郎の視線」など写真美術館ならではの魅力ある展覧会を実施しました。

映像展「超〔メタ〕ヴィジュアル」展は、フランスに招聘され、パリ郊外のアンギャンレヴァンアートセンターで開催、「ブラッサイ展」はパリ・ポンピドゥーセンターからアジア唯一の巡回展として開催するなど、海外美術館との交流も深めています。

10周年事業の一環として実施したカフェ&アーティストトークは新たな展覧会の楽しみ方を提案したもので、出品作家やゲストキュレーター等の講師や、参加者から好評を得たところです。

「次の10年へのステップとなる踊り場」として、この1年の歩みが皆様のご参考になれば幸いに存じます。

東京都写真美術館

目次

平成17年度事業

開館の経緯	5
展覧会事業	6
実験劇場	18
収集の基本方針／作品収集実績	22
平成17年度収蔵作品の紹介	23
保存科学研究室	28
図書室	30
普及事業	32
貸出施設利用状況	44
維持会員	45
組織図／入場者数	48
条例	50
施行規則	53
予算概要	55
平面図／施設面積／建物概要／設備概要	56
利用案内	58



開館の経緯

昭和61年11月—第二次東京都長期計画で「写真文化施設の設置」を発表

昭和62年9月—東京都映像文化施設設置委員会設置

昭和63年7月—東京都映像文化施設作品資料収集・評価委員会設置

平成元年2月—「東京都映像文化施設（仮称）基本構想」（設置企画委員会報告）を発表

平成元年8月—東京都写真美術館設置企画委員会、同作品資料収集・評価委員会設置

平成2年6月—東京都写真美術館条例施行。東京都写真美術館一時施設開館

平成3年8月—「東京都写真美術館基本計画」を発表。東京都写真美術館総合施設の建設工事着手

平成5年7月—東京都写真美術館総合施設開設準備委員会設置

平成6年8月—東京都写真美術館の建物竣工

平成7年1月21日—東京都写真美術館総合開館

〔歴代館長〕

平成2年6月1日—初代館長に渡辺義雄就任（平成7年3月31日まで）

平成7年4月1日—第2代館長に三木多聞就任（平成12年3月31日まで）

平成12年4月1日—第3代館長に徳間康快就任（同年9月20日まで）

平成12年11月6日—第4代館長に福原義春就任